

アイ
の
カタチ

for
ADULT
only



私は——
キリトくんを愛している

あ♡

あ♡

あ♡

ははっ
全くお前ってやつは
本当にどうしようもない
淫乱娘だなアスナ

もっと——
もっと突いてエギルうっ♡

しかし今……
私は他の男に抱かれ
はしたなくも喘いでいる

あは♡
だってえ……
エギルの大人ちゃんほ
凄いいだもん♡

あひ♡

はひ♡
ほ……らあ——
キリトくんじゃ
届かない子宮まで
届くんだよお♡



ははっ
なるほどな—

愛してるのはキリト
でも大好きなのは
このちんぽってことか

あは—
そうっ♡

これがイイのっ♡

キリトくんのより
エギルのこの
デカちんぽがいいのお♡



ごめんね—
ごめんねキリトくんっ♡

はあ…っ

はあ…っ

けれどこれこそが
私がキリトくんを
愛した結果でもあるのだ



あんっ♡

あ♡

あ♡

はっ♡

はあああっ♡

では何故今
こんな状況に
なっているのか…

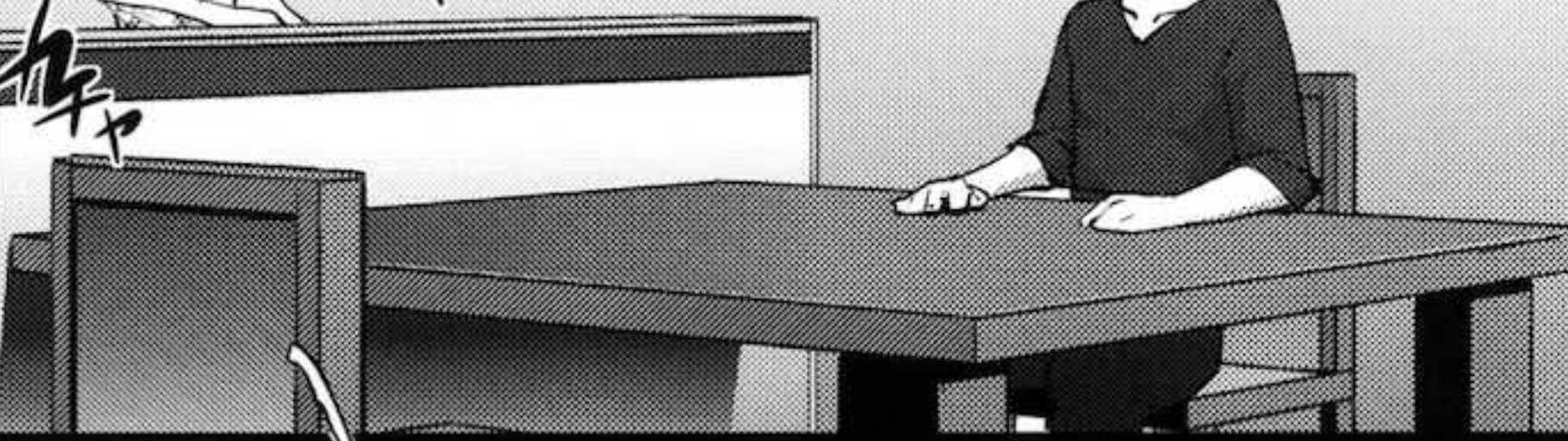
それを説明するには
少しばかり
長くなるけど—…



カキヤ



私達がエギルの家を出て一緒に暮らすようになった頃



あーは♡

くうん♡

あ♡

あん♡

あ♡

私達は今まで遠慮していた時間を取り戻すかのようにお互いを求め合っていた

ああ…俺もだっ

凄いよおキリトくん♡



そしてそれは
日を増すごとに
激しくなっていくたの

んあ♡

はっ♡

こんな格好で
なんてーあっっ♡

はっ♡

はっ♡

あは♡

やあっ
そんなのダメっ

……だめええっ♡

はあー
ああああ♡♡

主には彼の欲求に
答える日々だったが
それは次第に私自身の
性癖へとも変わっていくた

ふふっ
どうだいアスナ

もっとお♡

もっと強くうう♡♡

ほらー
誰かにアスナの
ヨガリ顔見られるかも



—でも

そんな日々に飽きたかのように突然彼は私を求めなくなった

ねえ…キリトくん今日は…その……しないの…?

ああ

明日から戦いの勸を取り戻そうと思ってるんだ

あ…

むっ



このゲームをクリアして脱出することが目的の私達にとってそれこそが正しいのだとはわかっていただけ

だけど—

あ…はっ



は…ああ♡

んっ♡

ただと既に様々な快楽を知り疼き続ける私の身体はたった一日でさえ我慢できなくなっていた

そしてそんな状態が
5日ほど続いた時
私は――

アス…ナ…
おまえ…

た…ら…

ごめんなさいエギル…
迷惑だっかわかってるけど
こんなこと頼めるの
エギルくらいしか
思いつかなくて…

もうダメなの…
身体が疼いて頭が
おかしくなりそう…

お願い…

私を…犯して…

私はキリトくん
以外の男に抱かれに
行ってしまった

あひ♡

ひっ♡
ひん♡

ひん♡

けど何故だか
それはとても…
とても気持ち
良かった

あは―
はあああ♡



けれどそれこそが
キリトくんの
狙いだった

ただいま
キリトくん

キーン

おかえりアスナ

ニヤッ
…エギルのちんぽは
気持よかったかい



ふふっ
でもまだだよ…
ここからさ
ここからがきつと
俺たちにとって
最高の時間なんだ



全くー
ちょっと相手に
しなかっただけで
他の男のちんぽで
腰を振るなんて

まるで盛りのついた
メス豚じゃないか
この卑しい雌豚めッ

彼は彼の嫉妬心と
私の罪悪感をくすぐる
新たなプレイを
考えていたの

はっ
あはっ
ごめんなひやいい♡
アスナはあなた以外の
おちんぽでも求めてしまう
卑しいメス豚ですうう♡

そしてそれは
彼の目論見通り
私達に新たな
興奮を与えた

あひっ♡
はあー
ああああ♡

その快感に目覚めて
しまった私達は
それから倫理観と
言うモノが
働かなくなった

淫靡な格好で
男達を誘い
されるがままに
様々なちんぽを
迎え入れる私:

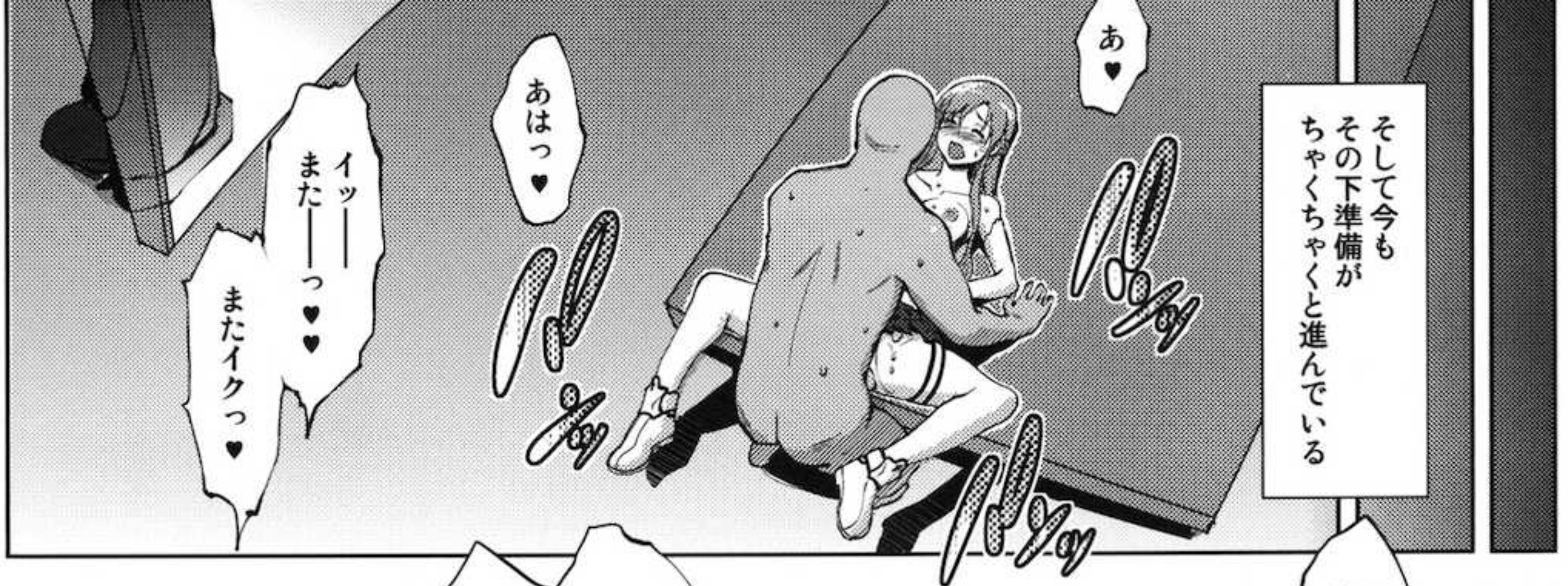
そしてその様子を
黙って見続けながら
自身をいきり立たせ
後々その滾りを思い切り
ぶちまけるキリトくん:



そんな異常な
愛情表現こそが
私を満足させ
彼との繋がりを
明確にさせる

これが私達の真実
これこそが私達の
アイのカタチなのだ





そして今も
その下準備が
ちやくちやくと進んでいる

あ♡

あはっ♡

イッー
またーっ♡♡
またイクっ♡



出してっ
膣内に
出してえっ♡
エギルのザーメンで
子宮いっぱいにしてええ♡♡

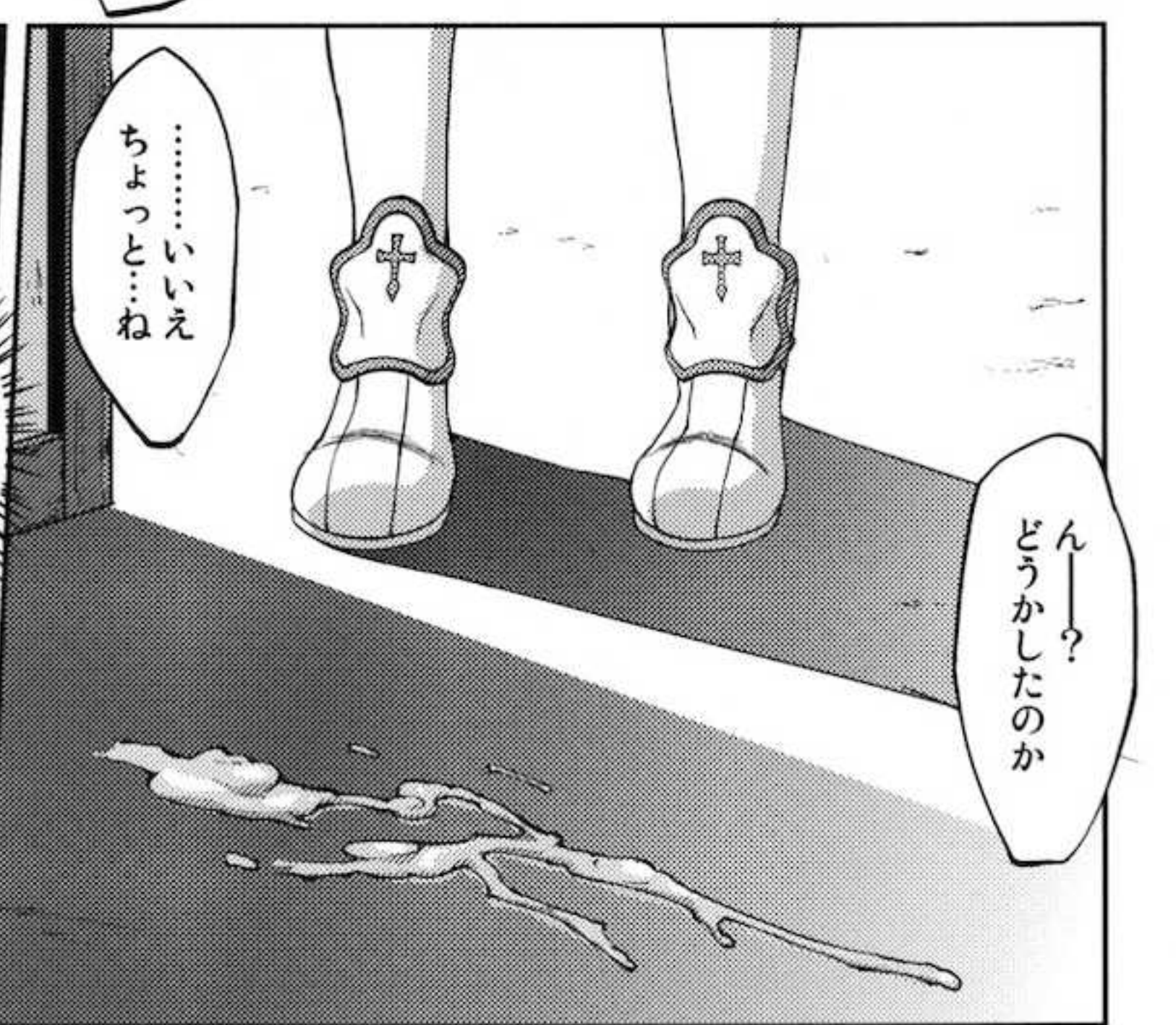


ああー
俺もそろそろ

あ♡
あ♡
あ♡
あ♡



あはああああ♡♡





ふふっ
いやに丁寧じゃないか

今日は
そんなに興奮して
いるのかい

びちゃ
びちゃ



アスナ

それで—
今日のエギルは
どうだったんだい

ふふっ
相変わらず
凄かった…♡

キリトくんのより
二回りは大きいから
子宮まで容赦なく
犯してきて

イキ過ぎて
意識飛んじゃうかと
思ったもの♡

あは♡

だってキリトくんったら
あんなものまで
残していくんですもの

キリトくんの興奮が
伝わってきて
ずっとドキドキ
してたのよ♡

ははっ
なるほどね





それに—
ほら…
こんなに沢山
ザーメン出して
貰っちゃった♡

子宮の奥までエギルで
染まっちゃってる♡



わざわざザーメンを
入れっぱなしに
して帰ってくるなんて…

ん♡

お前のマンコは
俺のモノだと
何度言ったらわかるんだ



ふふっ
まったく…
本当にはしたくない女だ

そんなに俺に
掻きだして
欲しかったのかっ

ははっ
ほんとに凄い量
じゃないか

ほらっ
もっとあるだろう
奥にあるのを
ひり出すんだアスナツ

あひゃん

あっ♡
あっ♡
あっ♡

あひっ♡

あひゃん♡

らめえええっ♡♡♡

そんな強くされた…らっ

い…くっ♡

あひゃん
あひゃん

あひゃん
あひゃん
あひゃん

イツちやううううツ♡♡



はあ…♡

はあ…♡

はあ…♡

は…ああ…♡

んんん

んんん

んんん

んんん

やれやれ…
ザーメンと潮で
べとべとじゃないか



自分のものは
自分で処理するんだ

あむうっ

んんん

さて…
それじゃあそろそろ
その汚れた身体に
もう一回俺を
刻みつけようじゃないか

はあ…はあ…

は…いい…♡



んんん



んんん

ん
ぶうううっ



んんん

はあ…っ

はあ…っ

よーし
偉いぞアスナ



んん？
どうしたー
今日はこの格好で
して欲しいのか？

はいい♡
どうかこの卑しい
メス豚をキリトくん
おちんぼでお置き
してください♡

なるほどなー
ケモノはケモノの姿勢で
おねだりってわけか
いいだろう
期待に答えてやる



えーっ

んおー
んお
んお
んお
んお

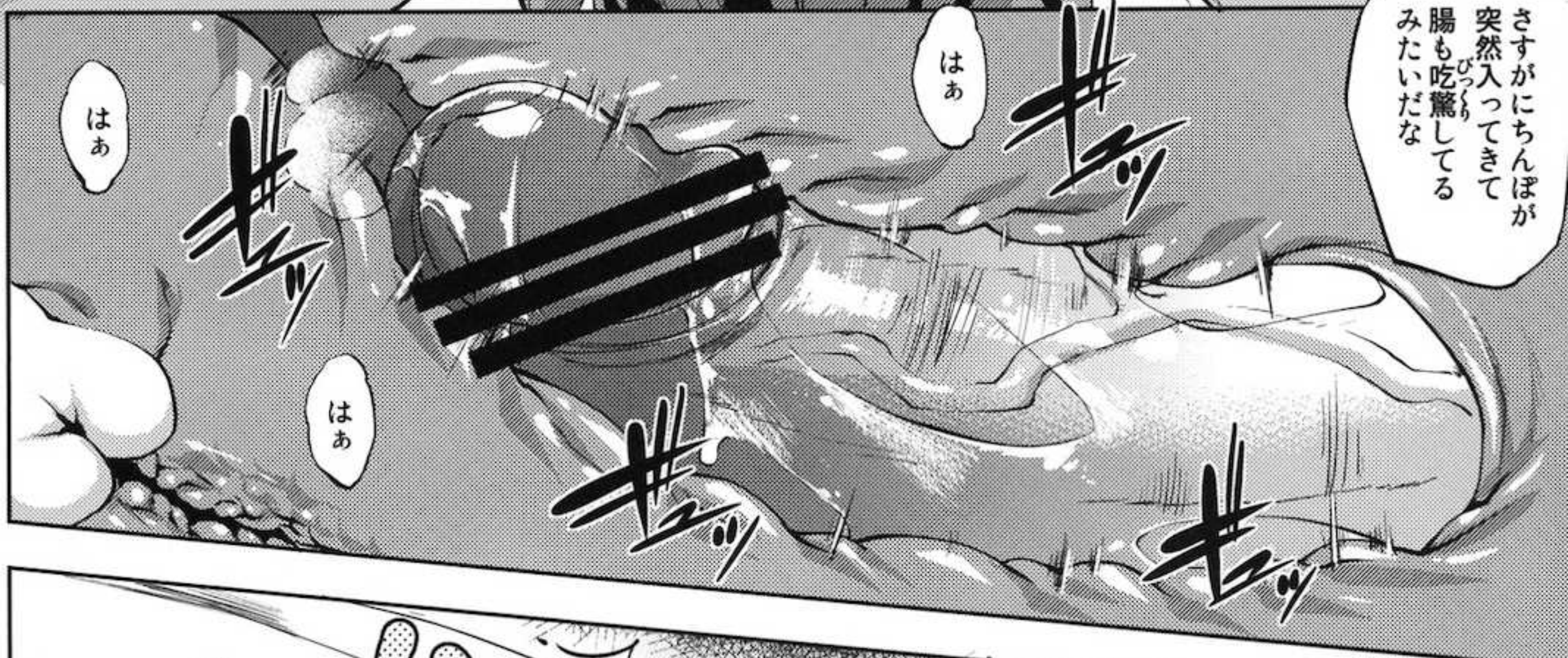


は...ああ.....あ
おひりり...いいい...っ

ははっ

すまんすまん
穴を間違えちまった

さすがにちんぽが
突然入ってきて
腸も吃驚してる
みたいだな



はあ

はあ

はあ



まあ久しぶりだし
こなれるまでは
ゆっくり出し入れ
してやるよ

おんお—
おんおおんお

ぬ
ぬ
ぬ
ぬ



ん~~~~?

なんつう声
出してんだアスナ

そんな下卑た声
出されたら
我慢出来るものも
出来なくなる
じゃないか

え……っ

や——
待ってキリトく——

あひいっ
いっ

や——
っ

おお——
おお
おお
おお
お

は——
ああっ

あぐっ

はっ



はあっ

はっ

待
ああっ

キリトク—
そんな激しくされたら
痛—いいいッ



んううっ

あー

んああっ

何言っただ
アスナー—
お前はこれくらいで
丁度いいのさ

んっ

んっ

んっ

……ふあっ

は

あひっ

は

あひっ

ふふっ
ほらな

もう甘い声に
なってきたじゃないか

あふ

あっ

——ずるいよっ
そんなに執拗に
乳首弄られたら
それだけで：
あたし——っ

へえ——
それじゃそのまま
イカせてやるよ

んあ——
だ……ダメえっ



わっ
わっ
わっ

これ以上されたら
あたし本当につ



だめ——
ダメダメえっ

ほんとに

ほんとに
イツちやうううっ



あはっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ん…はああっ♡

ははっ
全く—
調子のいい奴だ

すっかり
いつも通りの
顔じゃないかアスナ

んおおお♡

ら…
らってええ♡

キリトくんが
あたしの弱点
知り尽くしてる
からああ♡

ふふっ
まあな

…さて
それじゃそんな
アスナに質問だ

そろそろ俺も
イキそうだが…

アスナはこのまま
ケツ穴にザーメン
注いで欲しいのかい？

ダメッ
ダメええッ

ここっ
ここに欲しいの♡

ここをキリトくんの
ザーメンで
イッパイにしてっ♡

はあ

エギルで汚れた
私のおまんこ

もう一度キリトくん色に
染めて欲しいのおお♡♡

はは
いっせーっ

んおおおっ♡

あはああっ♡

きた
——♡

キリトくんの
おちんぽようやく
おまんこにきて
くれたああ♡♡♡



んっ♡♡

あはっ♡

はっ♡

はああ♡



しゅんっ♡

やっぱりキリトくんの
おちんぼが最高なのお♡

エギル達より断然
ちっちゃいのに
子宮の奥が
キョんキョんしてー

頭の中が真っ白に
なっていくのお♡



私のおまんこと
キリトくんのお
おちんぽも♡

とんでもなく
変態なところも♡

キリトくん以外じゃ
考えられない♡♡

やっぱり私と
キリトくんは
ぴったりなんだよ♡

キリトくんのお
おちんぽ以外
私を本当に愛する
ことなんて出来ないのおお♡♡



ああ—
俺もアスナだけだっ

アスナだけが俺の…
俺だけがアスナの
パートナーなんだっ

ああ—
あああああ♡♡



はぐっ♡

あはああ♡

よし—アスナっ
そろそろ出すぞっ

あ♡

あ♡

うん♡
きて—っ♡

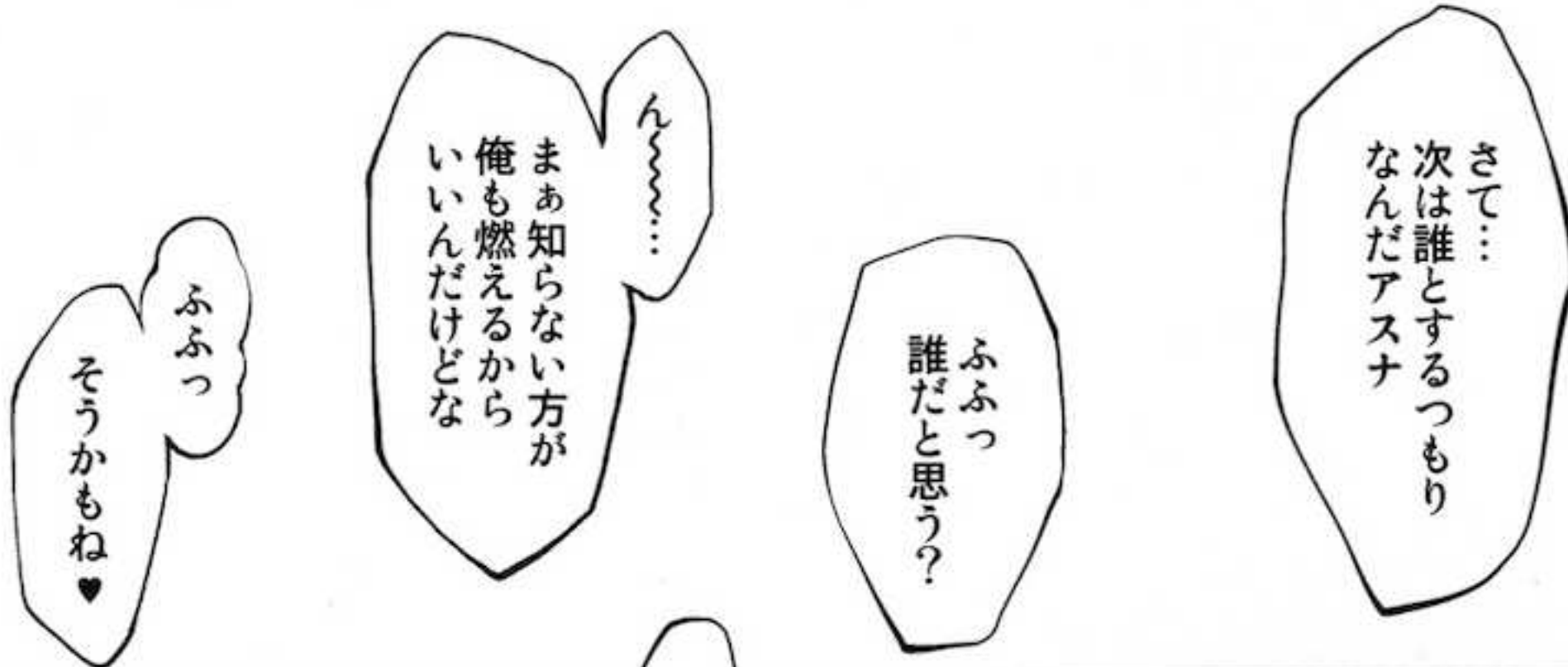
アスナのおまんこに
キリトくんの愛液
いっぱい飲ませてえええ♡



ぐお—
おとおおおっ

はひッ♡





END

あとがき

皆様こんにちは、初めましての方は初めまして、七鍵智志と申します。
この度はこの本をお手に取って頂きまことにありがとうございます。

今回はソードアート・オンラインよりアスナをメインとして描かせて頂きましたが
如何でしたでしょうか。
なるべくネタバレにならないようにとしたんですがキリトとアスナが
くつつくとかはもうしょうがないですよw

アニメの方現時点では三話までしか見てないんですがやはり気合入ってますね！
キャラが可愛いのはもちろん、アクションも凄い好みだったしOP曲も
めっちゃはまりました。
どこまでやるのかがまだ見えてないのですが今後が楽しみでなりません！

ただ描いてて思ったんですがアスナもキリトも難しい:(;°'ω°'):
特にキリトくんは異常に似ないのでかなり冷や汗モノでした…

異常性癖を共に成長させていく二人を想像すると息子が
タマランチってなりましたがそんなリビドーが少しでも
皆さんに伝わったことを祈るばかりです。

さて、今回は自分にしては珍しく先にラノベから読んでいた作品なのですが
それ故にちょっとトラップがありましたw

というのも今回の作品は当初陵辱的なネームだったんですが
自分の書いたネームではネタバレが必須になるなあと後になって気づき
ネーム切ったのにも関わらず変更して純愛不倫プレイになったのです。
(そのおかげで予定が大分狂ってしまって締切ヤバかったです(;´∀`))

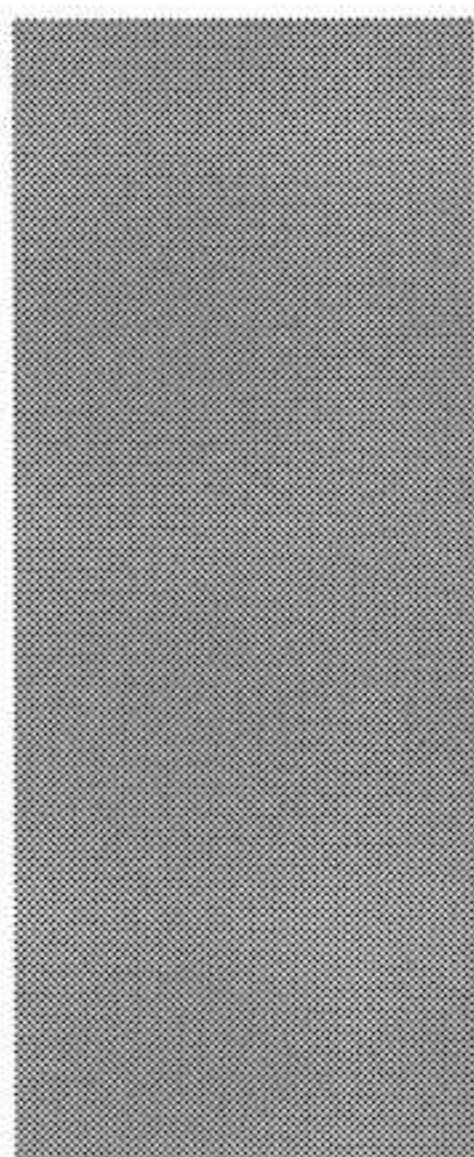
それで知った…気がするのですが
自分は頭が固いので最初からある程度ストーリーを知っていると
幅が狭まってしまう傾向にあっただらしいですw
今後はそこら辺も柔軟にして二次創作するのも課題となりそうですね。

よしっ
それではスペースも大分無くなってきたので今回はこれで終わりにしよう
と思います。

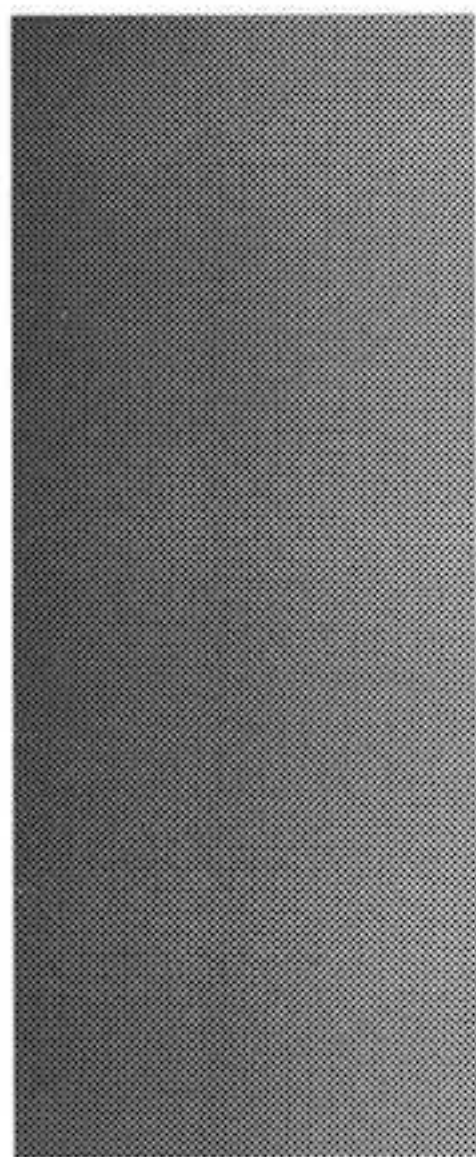
それでは改めまして
ありがとうございました！

七鍵智志

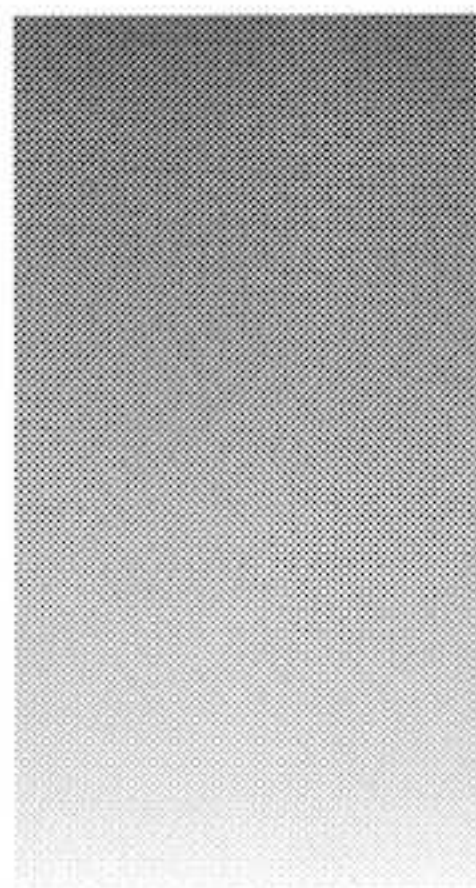
※ちょっと奥付のページを使ってグレースケール350dpi出力での印刷実験



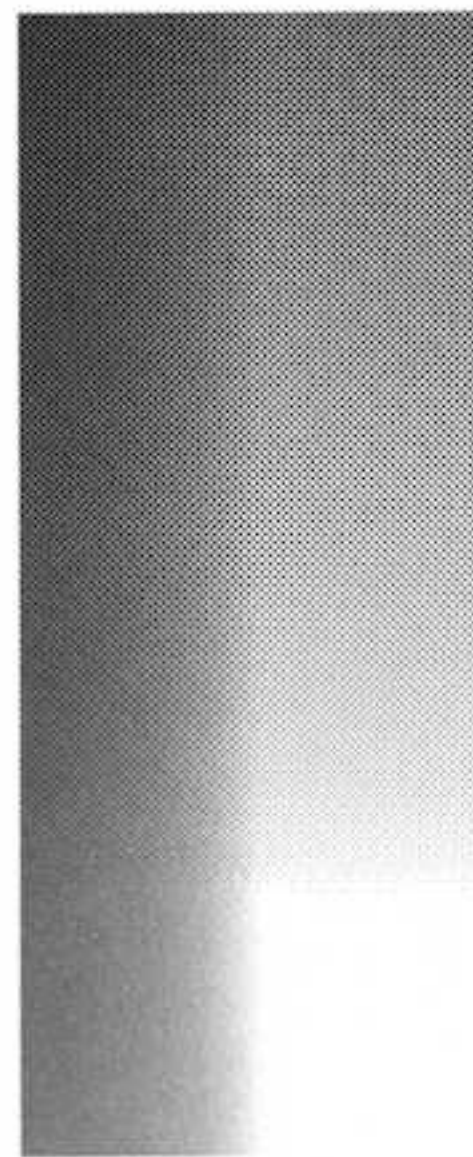
70線トーン



70線トーン&グレー



70線グラデ



70線グラデ&グレー

奥付

発行 七つの鍵穴
発行人 七鍵智志
発行日 2012/08/12

HP : <http://nanakagidensetu7.sakura.ne.jp/>
twitter : nanakagisatosi
mail : codemasa7@hotmail.com

NANATSUNOKAGIANA

